

作成日 2025/04/23
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 フローン オイルクリーナーSP
供給者の会社名称 東日本塗料株式会社
住所 東京都葛飾区堀切3丁目25番18号
担当部門 品質保証部
電話番号 0480-65-5880
FAX番号 0480-65-5798
緊急連絡電話番号 0480-65-5880
推奨用途 塗料
使用上の制限 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓 呼吸器)
環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分3
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報 H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H336 眠気又はめまいのおそれ
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、呼吸器の障害
H402 水生生物に有害

注意書き
安全対策 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)

環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
(P305+P351+P338)

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)

特別な処置が必要である。(P321)
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P332+P313)

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

保管 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

廃棄 施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	20~24%	HOCH2CH2OCH2CH2OC4H9	(2)-422,(7)-97	既存	112-34-5
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基のC=10~14、混合物)	9~13%	不明	不明	不明	69669-44-9
水酸化ナトリウム	1.5~3.5%	NaOH	(1)-410	既存	1310-73-2
硫酸ナトリウム	3~7%	Na2SO4	(1)-501	既存	7757-82-6

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

特別な処置が必要である。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法		消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		
6. 漏出時の措置		作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材		
二次災害の防止策		
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
保管	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置		
設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
	手の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。 状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護手袋等適切な保護具を着用すること。
	眼、顔面の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。

皮膚及び身体の保護 状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護衣、履物等適切な保護具を着用すること。
 具 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体
色	淡黄色
臭い	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点	データなし
範囲	
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限 下限	データなし
界／可燃限界	
	上限
引火点	データなし
自然発火点	引火せず
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	11.9(1%w/w)水溶液
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配	データなし
係数	
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.04(20°C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	金属の種類によっては、接触により水素ガスが発生し、空気と混合して爆発性の気体を生じる可能性がある。
化学的安定性	通常の保管条件／取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	自己反応性、爆発性なし
避けるべき条件	火気、熱、摩擦、衝撃、直射日光
混触危険物質	高濃度の酸、酸化剤、熱水 銅、アルミ、スズ、亜鉛等の金属、及びこれらの合金
危険有害な分解生成物	硫黄酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	経口	データ不足のため分類できない。
	経皮	データ不足のため分類できない。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		10×(区分1+1A+1B+1C)の成分合計が25.5%のため、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		10×(眼区分1+皮膚区分1)の成分合計が25.5%のため、区分2Aとした。
呼吸器感受性		データ不足のため分類できない。
皮膚感受性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖細胞変異原性	<p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。</p>																		
発がん性 生殖毒性	<p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響)</p>																		
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	<p>データ不足のため分類できない。 区分3(麻酔作用)の成分合計が100%のため、区分3(麻酔作用)とした。 区分1(肝臓)の成分が100%のため、区分1(肝臓)とした。 区分1(呼吸器)の成分が100%のため、区分1(呼吸器)とした。</p>																		
誤えん有害性	<p>動粘性率が不明のため、分類できないとした。</p>																		
12. 環境影響情報 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	<p>(毒性乗率 × 100 × 区分1) + (10 × 区分2) + 区分3の成分合計が100%のため、区分3とした。 (毒性乗率 × 100 × 区分1) + (10 × 区分2) + 区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>																		
生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性	<p>データなし データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。</p>																		
13. 廃棄上の注意 残余廃棄物	<p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p>																		
汚染容器及び包装	<p>内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>																		
14. 輸送上の注意 国際規制	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="502 1574 663 1603">海上規制情報</td> <td data-bbox="751 1574 967 1603">IMOの規定に従う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 1608 580 1637">UN No.</td> <td data-bbox="751 1608 807 1637">3066</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 1641 679 1700">Proper Shipping Class</td> <td data-bbox="751 1641 807 1700">塗料 8</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 1704 663 1733">Packing Group</td> <td data-bbox="751 1704 775 1733">II</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 1738 687 1767">Marine Pollutant</td> <td data-bbox="751 1738 906 1767">Not applicable</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 1771 724 1939">Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code</td> <td data-bbox="751 1771 860 1800">applicable</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 1951 663 1980">航空規制情報</td> <td data-bbox="751 1951 1070 1980">ICAO/IATAの規定に従う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 1984 580 2013">UN No.</td> <td data-bbox="751 1984 807 2013">3066</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 2018 679 2047">Proper Shipping</td> <td data-bbox="751 2018 807 2047">塗料</td> </tr> </table>	海上規制情報	IMOの規定に従う。	UN No.	3066	Proper Shipping Class	塗料 8	Packing Group	II	Marine Pollutant	Not applicable	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	applicable	航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。	UN No.	3066	Proper Shipping	塗料
海上規制情報	IMOの規定に従う。																		
UN No.	3066																		
Proper Shipping Class	塗料 8																		
Packing Group	II																		
Marine Pollutant	Not applicable																		
Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	applicable																		
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。																		
UN No.	3066																		
Proper Shipping	塗料																		

国内規制	Class	8
	Packing Group	II
	陸上規制	非該当
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	3066
	品名	塗料
	クラス	8
	容器等級	II
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質	該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	3066
	品名	塗料
	クラス	8
等級	II	
緊急時応急措置指針番号	153	

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

ジエチレングリコールモノブチルエーテル
水酸化ナトリウム
硫酸ナトリウム

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

ジエチレングリコールモノブチルエーテル(安衛則別表第2の番号:729)(20%-30%)(営業秘密)
水酸化ナトリウム(安衛則別表第2の番号:1122)(5%未満)(営業秘密)
硫酸ナトリウム(安衛則別表第2の番号:2236)(1%-10%)(営業秘密)

腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)
皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧)

水酸化ナトリウム

濃度基準値設定物質(安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号)

労働安全衛生法(令和7年施行分)

労働安全衛生法(令和8年施行分)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

ジエチレングリコールモノブチルエーテル
水酸化ナトリウム
硫酸ナトリウム

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

ジエチレングリコールモノブチルエーテル(安衛則別表第2の番号:729)(20%-30%)(営業秘密)
水酸化ナトリウム(安衛則別表第2の番号:1122)(5%未満)(営業秘密)

毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	硫酸ナトリウム (安衛則別表第2の番号: 2236) (1%-10%) (営業秘密)
化審法 外国為替及び外国貿易法 労働基準法	非該当 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1) ジエチレングリコールモノブチルエーテル (管理番号: 627) (22%) 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。) (管理番号: 30) (11%) 優先評価化学物質 (法第2条第5項) 輸出貿易管理令別表第1の16の項 疾病化学物質 (法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

16. その他の情報

連絡先 参考文献	東日本塗料株式会社 溶剤便覧 製品評価技術基盤機構(NITE) メーカー SDS 日本工業標準調査会「JISZ7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」 日本工業標準調査会「JISZ7252 GHSに基づく化学品の分類方法」 日本塗料工業会編集「容器イエローカード(ラベル方式)塗料マニュアル 改訂版」 日本ケミカルデータベース製物質データベース
その他	[注 意] 危険性・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意して下さい。 この製品の安全データシートの記載内容のうち含有量、物理化学的性質などの値は、保証値ではありません。 記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しておりますが、すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いに当たっては細心の注意が必要です。 注意事項は通常の取り扱いを対象としたものである為、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。 又それらが実際の使用状況に相応しているか、環境保護の目的にそっているか、あるいは貴社の従業員の方々や貴社製品購入者の健康・安全を損なわないか等については、貴社の責任にてご判断願います。